

新型コロナウイルス感染症への 対応について

目次

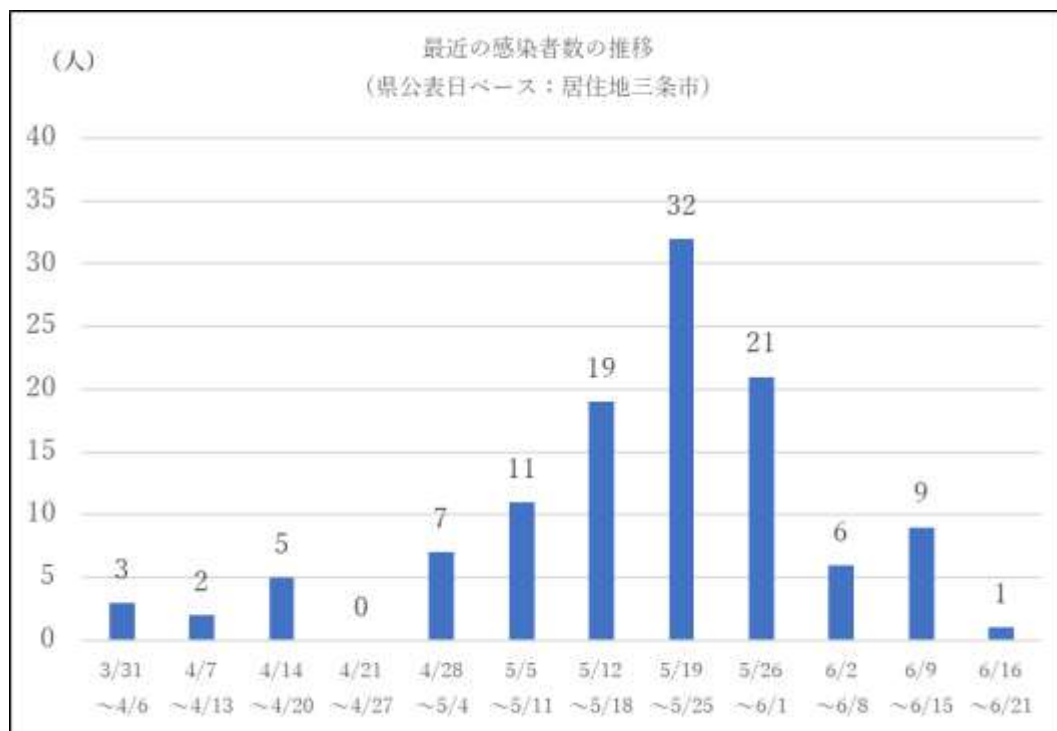
- 三条市における新型コロナウイルスの感染状況と感染予防の取組 …… 資料No.1
- 新型コロナワクチン接種の状況 …… 資料No.2
 - 1 これまでの主な取組 …… 1
 - 2 現在の接種状況 …… 1
 - 3 接種計画 …… 3
 - 4 接種の完了見込み …… 4
 - 5 ワクチン接種を受けやすい環境整備 …… 4
- 新型コロナワクチン接種完了を見据えた経済対策の取組 …… 資料No.3

三條市における新型コロナウイルスの感染状況と感染予防の取組

三條市では、ゴールデンウィーク前から4週間連続で感染者数が前の週より増加し、ピーク時には、1週間で32人の感染者が確認されるなど、感染の拡大が続いた。

こうした事態を受け、新潟県や生活圏を同じくする燕市と連携し、5月28日から飲食店等を対象に臨時PCR検査所を設置するとともに、高齢者施設や保育所等に対してPCR検査キットを配布する取組を進めた。

さらに、6月3日には、三條市、燕市の両市長から三條市、燕市の両市民の皆様への感染予防に係るお願いのメッセージを發出し、感染者の早期発見と感染の拡大防止に取り組んだ。



- 感染者数累計：三條市 254 人、新潟県全体 3,384 人（6月21日時点）
- 3月31日から6月21日までの感染者数累計：三條市 116 人
- 主な感染事例：
 - ・ 三條保健所管内の飲食店関連で多数の感染者が発生
 - ・ 三條保健所管内の高齢者施設関連で多数の感染者が発生
 - ・ 三條市内の学校（第一中学校、一ノ木戸小学校、大島中学校及び大崎学園）

<学校での対応>

職員や児童・生徒に感染者が発生したため、速やかに校内の徹底した消毒を実施するとともに、濃厚接触者等の検査結果が判明するまでの間、臨時休校とした。

検査の実施に当たっては、保健所が濃厚接触者等を確定し検査を行うとともに、念のため、更に範囲を広げ市が独自で任意の検査を行うなど、感染者の早期発見、感染の拡大防止を図った。

【臨時 PCR 検査所】

- ・対 象 ①三条市・燕市内で営業する飲食店の事業主及び従業員
(三条市の飲食店数：596 件)
- ②三条市・燕市内の高齢者施設・障がい者施設の職員 (5/31 から対象に追加)
- ・期 間 令和3年5月28日から令和3年6月24日まで
- ・検査状況 三条市民522人が検査実施 (6/19 現在)

【PCR 検査キット配布】

- ・対 象 三条市・燕市内の高齢者施設、障がい者施設及び保育所等の職員及び利用者
- ・期 間 令和3年5月31日から令和3年6月18日まで (提出は6月25日まで)
- ・検査状況 三条市内の高齢者施設で339人、障がい者施設で90人、保育所等で620人の計1,049人が検査実施 (6/18 現在)

新型コロナウイルスワクチン接種の状況

1 これまでの主な取組

日付	取組
2/10	新型コロナウイルスワクチン接種推進本部設置
3/22	コールセンター設置
4/19	集団接種会場に從事する医療従事者への接種開始 (97人)
4/23	65歳以上の方に接種クーポン券発送
4/24	全ての医療従事者への接種開始 (426人)
4/27	消防職員への接種開始 (148人)
4/28	65歳以上の自治会長、民生委員・児童委員等への先行集団接種実施 (490人)
5/6	接種予約の受付開始(コールセンター、インターネット及び自動音声ガイダンス)
5/22	集団接種従事者への接種開始 (69人)
5/24	65歳以上の方の個別接種開始 (35医療機関)
5/26	65歳以上の方の集団接種開始 (5会場)
6/1	高齢者施設等のサービス利用者及び施設職員への接種開始 (約3,600人)
6/1～11	16歳～59歳で基礎疾患のある方からの接種クーポン券発行申告受付(2,044人)
6/16	16歳～59歳で基礎疾患のある方及び60歳～64歳の方への接種クーポン券発送
6/20	訪問系サービス・通所サービス職員への接種開始 (579人)
6/21	16歳～59歳で基礎疾患のある方及び60歳～64歳の方の予約受付開始

2 現在の接種状況

(1) 接種体制

種類	内容
集団接種	○会場：体育文化会館、総合福祉センター、栄保健センター、 下田保健センター、三条市立大学 (※) ※ワクチン接種早期完了のため、5月13日に追加 ○日時：令和3年5月26日(水)から 水・木・土曜日 午後1時30分から6時まで ※三条市立大学は午後2時30分から6時まで 日曜日 午前9時から正午まで、午後1時30分から4時30分まで
個別接種	○会場：市内35医療機関 ○日時：令和3年5月24日(月)から 時間は各医療機関で設定した時間
施設接種	○会場：市内高齢者・障がい者施設50施設 ○日時：令和3年6月1日(火)から 時間は各施設で設定した時間 ○対象：施設サービス利用者及び施設職員約3,600人

(2) 接種までの支援

ア 予約支援

(ア) インターネット予約のサポート
・ 5月6日から三条庁舎、各サービスセンター、地区公民館及び大崎会館の12か所でインターネット予約を代行 ・ 金融機関等の協力により、営業先でインターネット予約を支援
(イ) 障がい者用コールセンターの設置
4月1日から障がいがある方からのワクチン接種に係る相談及び予約支援を行うため、専用のコールセンターを福祉課内に設置

イ 会場までの移動支援

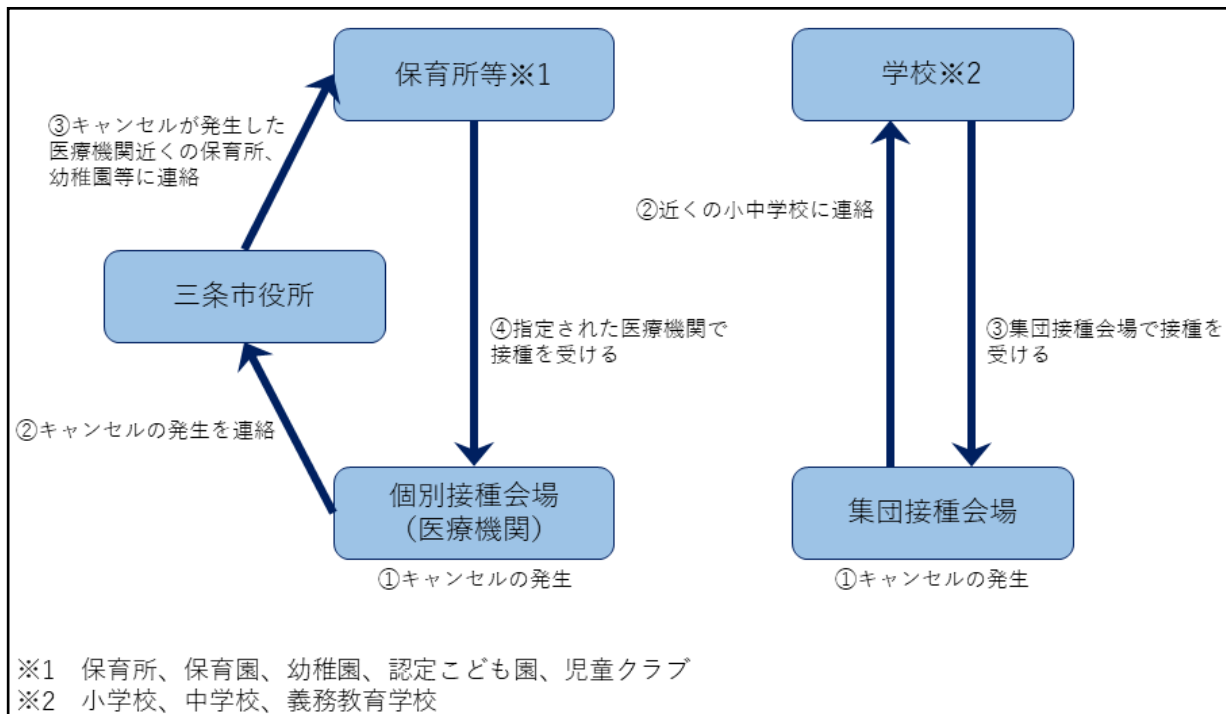
自宅から会場までのタクシー移動（市内事業者のみ）に係る費用の一部を市が負担

- ・ 市負担額 1人につき1回片道500円割引×4回（複数人での利用可）
- ・ タクシー割引利用状況（6月25日現在） 累計1,246件（片道を1件として集計）、接種者の利用率2.9%

(3) 接種の予約キャンセル対応

当日の予約キャンセル等が発生した際にワクチンの廃棄を避けるとともに、学校などでの感染の拡大防止に役立てるため、事前に登録した保育所の保育士及び小中学校の教職員等にキャンセル分のワクチンを接種する。

【接種のキャンセル対応スキーム図】



(4) 65歳以上の方の予約状況及び接種済人数

対象者数	31,311人（令和3年3月31日現在）
予約者数	27,290人（対象者の約87%）
接種者数	15,512人（対象者の約50%） （内訳：個別 6,719人、集団 6,495人、施設 2,298人） （うち1回目のみ接種済者 8,973人） （うち2回目接種済者 6,539人）
キャンセル対応した 保育士・教職員数	176人

※ 予約者数及び接種者数は6月25日現在

3 接種計画

(1) 基本的な考え方

接種を希望する市民に対して円滑に接種できるよう、次の項目を重点的に行う。

ア 集団接種会場に大規模接種会場を追加し、受入枠を拡大する。

イ 優先順位を設け段階的に接種券を発送し、接種を実施する。

ウ 65歳以上の方の接種は7月末までに完了させ、64歳以下の方は冬季間のまん延を未然に防ぐため、おおむね11月末の完了を目指す。

(2) 大規模ワクチン接種会場の設置（県事業）

燕三条地場産業振興センターを会場として、県央地域で大規模ワクチン接種を実施

ア 先行実施（予定）

1回目	7月3日（土）、7月4日（日）
2回目	7月31日（土）、8月1日（日）
対象者	・市内の保育所等（※1）、学校（※2）の教職員及びその家族 ・三条市立大学の教職員及び学生 ・タクシー乗務員
規模	1,500人/日程度

※1…保育所、保育園、幼稚園、認定こども園、児童クラブ

※2…小学校、中学校、義務教育学校

イ 通常実施（予定）

(ア) 8月から実施し、実施回数は11月末までに16回の接種を予定

(イ) 1日当たり3,000人～4,000人を接種する予定

(ウ) モデルナ社製のワクチンを使用するため、対象者は18歳以上とする予定

(3) 接種クーポン券等の発送及び予約受付スケジュール等

優先順位	接種券発送	予約開始	接種開始
(ア) 65歳以上	4月23日(金)	5月6日(木)	個別: 5月24日(月) 集団: 5月26日(水)
(イ) 高齢者施設の従事者	—	—	6月1日(火)
(ウ) 基礎疾患、60歳～64歳	6月16日(水)	6月21日(月)	7月中旬
(エ) ・市内の保育所等(※1)、 学校(※2)の教職員及び その家族 ・三条市立大学の教職員及び 学生 ・タクシー乗務員	—	—	7月3日(土)
(オ) 40歳～59歳	7月13日(火)	7月19日(月)	8月中旬
(カ) 16歳～39歳	7月21日(水)	8月2日(月)	9月上旬

※1…保育所、保育園、幼稚園、認定こども園、児童クラブ

※2…小学校、中学校、義務教育学校

(4) 12歳から15歳までの方(約3,200人)へのワクチン接種

今後、国の指針を参考に、接種の方法及び時期を三条市医師会や関係機関と調整し実施する。

4 接種の完了見込み

8月から11月末までの接種枠

○ 対象者数(16歳～64歳)…約55,300人

接種の種類	集団接種	約9,900人
	個別接種	約12,800人
	大規模接種	約24,000人(1回当たり3,000人を想定)
合計		約46,700人(対象者の約84%)

⇒ 接種を希望する16歳から64歳までの方への接種は、11月末までにおおむね完了する見込み

5 ワクチン接種を受けやすい環境整備

(1) 市民に向けたワクチン接種に関する情報発信

ワクチン接種を希望する方が安心して接種できるよう、ワクチンの安全性や副反応について市ホームページ、広報誌、SNS等を活用した情報発信を行う。

(2) 事業所に対するワクチン接種をしやすい環境づくりの要請

商工会議所等の産業支援団体を通じて、市内事業所に対して次のとおり環境整備に関する依頼を行う。

ア 勤務時間中の接種を可能とする等の柔軟な対応

イ 副反応により休養が必要な場合の特別休暇等の取得への配慮

ウ 様々な理由で接種を受けない人への強制や差別、不利益な取扱いの防止への配慮

新型コロナワクチン接種完了を見据えた経済対策の取組

市民のワクチン接種がおおむね完了するまでの期間を「下支え期」、それ以降を「回復期」として、それぞれ次の支援を行う予定である。

1 下支え期

業況低迷が依然として継続している事業者に対して、事業回復に向けた下支えを行うため、新たな支援制度である「(仮称) がんばろう SANJO 飲食店等サポート応援金」を創設し、支援する。

(1) 対象者

次の全ての条件を満たす者

ア 飲食業、宿泊業及び運輸・運送業の正社員 20 人未満の事業者

イ 指定する期間において、連続する 2 か月間の売上高が、各月において前年又は前々年の同月比 30%以上減少している事業者

(2) 対象期間

令和 3 年 8 月～11 月

(3) 対象経費

店舗賃借料 (1/4 (上限月 10 万円))、上下水道料金、固定資産税相当額 (減免措置分を除く。)、固定費 (上限月 5 万円。ただし光熱費のみ。)

(4) 予算額

補正予算として措置

2 回復期

市長の消費喚起メッセージの発出と合わせて、市内飲食店等での消費が拡大するよう支援策を講じ、その必要な経費は補正予算として措置する。